

<報道発表資料>

令和7年7月11日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

Art Rhizome KYOTO 2025 「逆旅京都」開催決定



清原遥《トワイライト・タイム》2024 年, サイズ可変, 綿に反応染料

Art Rhizome KYOTO2024「逆旅京都」、ホテル ザ セレスティン京都祇園での展示風景 撮影：岡はるか

京都市では、若手アーティスト等の活動環境の向上とアート市場の活性化を図るための取組を進めています。

この度、令和7年9月13日（土）から11月18日（火）にかけて「Art Rhizome KYOTO 2025 逆旅京都」を京都市内10会場にて開催します。宿泊施設、商業施設、公共空間などの文化と歴史のまち京都を物語る各会場をつなぎ、京都にゆかりのあるアーティストの作品の展示・販売を行います。

【Art Rhizome KYOTO（略称：ARK）とは】

京都市内の宿泊施設や商業施設等で、京都にゆかりのある若手アーティスト等の作品の展示・販売を行います。

昨年に引き続き2回目となる「逆旅（げきりょ）」。「逆旅」は宿を意味する言葉で、「逆旅京都」は、さまざまな人・もの・出来事を迎え入れてきた京都全体を宿のようにイメージしています。

今年度は特別ライターとして Penwadee Nophaket Manont（ペンワディー・ノッパケット・マーノン）氏が参加し、紀行文の形式で全会場と作品を記述するテキストを執筆します。

【開催概要】

● 日程

令和7年9月13日（土）～令和7年11月18日（火）

※会期中の会場日時は各会場に準じます。

● 会場（予定）

カリモク コモンズ キョウト＊ /京都市役所庁舎 /京都府立図書館＊ /サイツキョウト＊ /

THE GENERAL KYOTO 四条新町＊ /スフェラ /ホステルニルルーム /

HOTEL RINGS KYOTO /前田珈琲 文博店＊ /三井ガーデンホテル京都三条プレミア＊

＊は新規参加

● アートコーディネーター（企画チーム）

金澤韻＋増井辰一郎（コダマシーン） /櫻岡聡(FINCH ARTS) /黄慕薇(gallery Unfold)

● 特別ライター

Penwadee Nophaket Manont（ペンワディー・ノッパケット・マーノン）

（Bangkok Art and Culture Centre）

● 料金

無料

● 主催

京都市

● 運営

Art Rhizome KYOTO 実行委員会

メールアドレス：artrhizomekyoto2025@gmail.com

● 公式ホームページ、Instagram

公式ホームページ <https://artrhizome.jp/>

公式Instagram <https://www.instagram.com/artrhizomekyoto/>

【特別ライターの参加】

今年度は、Bangkok Art and Culture Centre のチーフ・キュレーターを務める Penwadee Nophaket Manont（ペンワディー・ノッパケット・マーノン）氏が、会場をつなぐ紀行文を執筆。現代アートを通して京都のまちを再発見します。

● Penwadee Nophaket Manont (ペンワディー・ノッパケット・マーノン)

1973 年、アメリカ・カリフォルニア州生まれ。現在はタイ・バンコクを拠点に活動。Bangkok Art and Culture Centre のチーフ・キュレーターを務めるほか、リサーチャー、文化活動家、Rai.D Collective の創設者、Project-PRY の共同設立者としても活動している。過去にはインディペンデント・キュレーターとして活動し、2007 年から 2012 年までは The Jim Thompson Art Center のキュレーションチームの一員だった。主なキュレーションプロジェクトには「Poperomia/Golden Teardrop」(Venice Biennale, 2013)、「Do We Live in the Same PLAYGROUND?」(Biennale Jogja XV –Equator #5, 2019)、および「PLUVIOPHILE」(タイのディープサウス出身アーティストによる没入型・参加型の展覧会／Thailand Biennale 2023: The Open World, 2023-2024) などがある。

【京都アート月間（仮称）に参加】

秋の京都を彩るアートイベントの 1 つとして「京都アート月間（仮称）」に参加します。国内外より多くの観光客が訪れる秋の京都には、旅の目的地となる様々なアートイベントがあり、Art Rhizome KYOTO もその 1 つとして各事業と広報連携やプログラム連携を行います。

<参考 1>企画チームについて

● 金澤 韻 (現代美術キュレーター・コダマシーン アートディレクター)

東京藝術大学大学院、英国ロイヤル・カレッジ・オブ・アート修了。
世界各地の美術館、芸術祭で展示企画多数。

● 増井辰一郎 (コダマシーン アートプロデューサー)

京都大学工学部建築科卒。
建築・デザイン・現代アートにまたがる領域で世界的な実績を持つアートプロデューサー。

● 櫻岡 聡 (FINCH ARTS ディレクター)

コマーシャル・ギャラリー勤務を経て、2016 年に FINCH ARTS を開廊。
ギャラリー運営の他、展覧会企画、ホテルなどのアート・ディレクションを行う。

● 黄慕薇 (gallery Unfold ディレクター)

京都芸術大学大学院グローバル・ゼミ修了。
ロンドン大学バークベック・カレッジにてアートマネジメント&ポリシー修士号取得。
gallery Unfold 企画・運営。

< 参考 2 > 昨年度の展示風景



左：Art Rhizome KYOTO 2024 逆旅京都 展示風景、Sfera(0F Café DOnG by Sfera)

右：Art Rhizome KYOTO 2024 逆旅京都 展示風景、関西日仏学館

< お問い合わせ先 >

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

電話：075-222-4200